

田辺市議会だより

発行 / 田辺市議会

編集 / 広報委員会

平成28年
(2016年)

8月号



6月定例会

平成28年度一般会計補正予算などを可決

平成28年6月定例会は、6月15日に開会し、7月6日までの22日間の会期で開催され、「平成28年度一般会計補正予算」など、市長提出議案12件について、全て原案のとおり可決しました（人事案件については同意または異議なし）。

また、市長専決処分事項など6件の報告を受けたほか、請願1件については不採択としました。

このほか、市の諸課題についての調査研究を行うため、2つの特別委員会を新たに設置しました。

本定例会では、6月24日・27日の2日間にわたり、8人の議員が一般質問を行いました。

目次

- ・特別委員会の設置 …………… P 2
- ・議決結果の一覧 …………… P 3
- ・一般質問 …………… P 4～5
- ・請願の審査経過、議会用語解説 …………… P 6
- ・平成27年行政視察来訪状況 …………… P 7
- ・9月定例会予定、議会活動日誌ほか …………… P 8

田辺市議会ホームページ

<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/index.html>

※携帯電話・スマートフォンなどの
バーコードリーダーで読み取ると、
議会ホームページにアクセスできます。



特別委員会を設置しました

市の諸課題についての調査研究を行うため、下記のとおり特別委員会を設置しました。
それぞれの構成委員は次のとおりです。

第2次田辺市総合計画調査特別委員会

第2次田辺市総合計画策定について調査を行う必要があるため、設置する特別委員会です
(定数8人)

(◎は委員長 ○は副委員長)



◎佐井 昭子



○塚 寿雄



久保 浩二



湯口 好章



市橋 宗行



安達 幸治



中本 賢治



宮本 正信

市庁舎整備調査特別委員会

市庁舎の整備に関するさまざまな課題について調査研究を行う必要があるため、設置する特別委員会です(定数8人)

(◎は委員長 ○は副委員長)



◎陸平 輝昭



○市橋 宗行



川崎 五一



北田 健治



二葉 昌彦



安達 克典



小川 浩樹



山口 進



○特別委員会とは

議会が特に必要があると認めた事件を審査するために、その都度設置される委員会です。

常任委員会と異なり常設的な機関ではありませんので、事件の審査が終われば、特別委員会もその必要がなくなり、消滅します。



議決結果（主なもの）

平成 28 年 6 月定例会

件 名		議決結果
議案第 1 号	田辺市議会議員及び田辺市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について (法令の改正に準じ、市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担について改正するもの)	原案可決 (全会一致)
議案第 2 号	田辺市立学校給食共同調理場条例の一部改正について (大塔給食センターと中辺路学校給食調理場とを統合するため、改正するもの)	
議案第 5 号	住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について	
議案第 7 号	平成 28 年度田辺市一般会計補正予算（第 1 号）	
議案第 8 号	平成 28 年度田辺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	
請願第 1 号	中学校卒業まで子ども医療費無料化を求める請願	不採択 (賛成少数)



賛否が分かれた議案等	議案の可否	紀新会						誠和会					公明党			日本共産党			清新会		くまのクラブ	
		尾花功	湯口好章	北田健治	橘智史	安達克典	塚寿雄	宮本正信	二葉昌彦	松下泰子	中本賢治	山口進	小川浩樹	佐井昭子	出水豊数	久保浩二	川崎五一	真砂みよ子	市橋宗行	吉田克己	陸平輝昭	安達幸治
中学校卒業まで子ども医療費無料化を求める請願	不採択	反対	反対	反対	反対	反対	反対	賛成	賛成	反対	反対	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	反対		反対	反対

議長（吉田 克己）は議決に加わらないため斜線としています。

紀勢自動車道の騒音などの環境問題 について 久保浩二議員

議 紀勢自動車道がすさみ南ＩＣまで開通し、橋りょうの接続部分の騒音、振動、ほこりなどの沿線住民に対する環境問題やプライバシー侵害が発生している。早急に対応すべきだ。

市 町内会や住民の方から切実な声を聞いており、市として紀南河川国道事務所に騒音対策等の要望をしている。また、今年度に接続部分の衝撃音防止工事を随時施工することになっている。さらに、遮蔽板の一定の基準に沿った設置をしており、プライバシー保護や防音効果も期待できると考えている。

議 今後とも騒音や環境問題など、住民要望に十分対応されたい。

県道温川田辺線水上～伏菟野間の幹線道路 化への取り組みについて 出水豊数議員

議 現況の水上から伏菟野までの間は通行が大変困難である。道路として有効活用できるよう改修することにより、迂回路の確保にもつながるので、大規模災害時における防災上の観点から、住民が安心・安全に生活できるよう、県に対し未整備区間の早期解消に向けて働きかけていただきたい。

市 災害時の迂回路という防災上の観点から、また市内各地域を結ぶ道路交通網の整備による利便性の向上、さらには地域活性化の観点から、県に対し未整備区間の早期解消に向けて協議してまいりたい。

農業振興について 宮本正信議員

議 ことしの梅の作柄については、市内の園地でひょうによる甚大な被害があった。このような災害のために農業共済制度があるが、加入率が低い。もっと使いやすい制度にならないか。

市 農業共済組合やＪＡと連携し、農業共済制度への加入促進に努めてまいりたい。

議 地産地消の推進や子供たちへの愛郷心の醸成のため、学校給食にもっと地元産の農産物を使用できないか。

市 「学校給食食材生産研究会」の育成も含め、地域の自然、文化、産業の理解といった食育の観点からも、さらに地産地消を進めていきたい。

地震・台風発災後の孤立地区対策に ついて 陸平輝昭議員

議 地震・台風の発災により孤立した集落が通信不能の際の連絡手段、物資の輸送手段、またヘリコプター輸送となったときの発着場の確保はどうなっているのか。

市 通信手段として、アンサーバック局を 85 カ所、移動系無線機を孤立のおそれのある 47 集落に 1 台ずつ設置している。輸送手段として、ＮＰＯ法人との間でバイクやヘリコプターによる医薬品、物資、人員輸送等の対応ができる協定を締結している。ヘリコプターの発着場は 38 カ所選定しており、着陸できないときは物資の投下やホバリングによる対応を考えている。

※編集の方針上、「～だ」「～である」といった文体に統一しています。

一般質問

障がい者スポーツのまちづくりについて 松下泰子議員

議 田辺スポーツパークが、リオパラリンピック陸上競技の強化拠点施設に指定されたことの意義と波及効果をどう考えているか。

市 地元の競技者及び指導者の競技水準の向上や障がい者スポーツへの理解と普及に結びつき、本市をPRする絶好の機会でもある。また、選手や家族が楽しめる観光メニューや受け入れ体制の充実に取り組んでいる。

議 本市が「障がい者スポーツの聖地」と言われるまちづくりの視点から、障がいのある地元の子供たちや人々との交流とともに、スポーツ教室も開催されたい。

市 関係機関等と連携・協力しながら、研究してまいりたい。

熊本地震を教訓とした防災対策の見直しについて 真砂みよ子議員

議 熊本地震の被害を見聞きして、市民は災害に不安を抱いている。過去の震災の教訓として、耐震補強の必要性が挙げられるが、熊本では遅れていた。補助制度があっても経済的負担が重く本市も利用が少なく遅れている。昨年度から耐震ベッドや耐震シェルターなど安価なものに対する補助制度ができたが、これに重点を置いてPRすべきだ。

市 本市で昨年度の利用はなく、PRが行き届いていない。今後、各種イベントや広報等で積極的にPR活動を実施したい。

議 市民の命と財産を守るという地方自治法で取り組んでほしい。

町内会・自治会を取り巻く問題について 二葉昌彦議員

議 町内会・自治会の加入率は、なぜ低下してきたのか。

市 個人の価値観や生活様式の多様化により、地域への帰属意識が希薄となっていることなどが挙げられる。特に共働き世帯の増加等により、多忙で町内会活動の参加が難しい点や旧来の近所付き合いの減少が大きな要因と考えられる。

議 町内会活動が硬直化、形式化し、子育て世代や女性の声が届きにくく、新しい行事ができない。地域コミュニティが崩壊し始め、若者世代が参画する魅力のある地域づくりができていない。次世代を育む場として、地域社会の再生をお願いしたい。

激増するソーラーパネル設置への対応について 川崎五一議員

議 設置されている太陽光発電用ソーラーパネルの現状を把握しているか。

市 設置に許認可が必要なものの以外については把握できていない。

議 パネルの設置により景観、反射光、風の流れの変化、将来の処分時の安全性などさまざまな懸念がある。規制する条例や規則が必要ではないか。

市 県に対しガイドライン策定の協議・要望を行っていく。

議 電力自由化を進めれば容易に推測された事態。儲け優先の政治のツケが国民に押しつけられている。国に対し法規制を求めるなどの対応を。

※ 議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

請願の審査経過について

6月定例会において、次の請願について本会議で採決が行われました（不採択）。

請願の要旨と、本請願が付託された文教厚生委員会における審査の要旨は次のとおりです。

中学校卒業まで子ども医療費無料化を求める請願

◆請願趣旨

- ① 子ども医療費を中学校卒業まで通院も含めて無料にされたい。
- ② 国に対して中学校卒業まで通院も含めた医療費を無料にするよう意見書を提出された。

◆請願理由（要旨）

2015年4月より、中学校卒業まで入院医療費の無料化が実現し、大変喜んでいるところである。しかし、保護者の願いは日々の通院が無料化になることである。

保護者の経済環境が、子

もの健康や学力にも大きく影響しているとも言われている。

経済的な理由で歯科の受診ができない。体調を崩しても受診を躊躇するなど、子どもの健康が心配になる状況もある。少子高齢化は、国の大きな課題にもなっている中、国が医療費補助へのペナルティーを課すことなどないようし、国の責任で安心して医療が受けられるように、中学校卒業まで医療費を無料化にするよう、国に対して意見書を提出されたい。

◆委員会審査（要旨）

・社会保障費が増加する中で、何かを優遇するために新たな負担を強いるのは難しい状況であ

り、今後、田辺市独自の施策のあり方を研究していくべき。

・県内の自治体において同様の助成制度拡充が進む中、子ども医療費無料化は子育て支援施策の中でも特に重要であり、他の自治体で実施できていることが本市でできないはずはない。

・総合的な検討を経て、平成27年度に中学校卒業までの入院費無料化まで拡充した内容を引き継いだ予算としている状況などを種々勘案すると、平成28年度に現状の子ども医療費助成制度をさらに拡充するのは難しく、今後については、国における国民健康保険の国庫負担金減額調整措置の見直し等の議論を注視しながら検討していくべき。

・国への意見書の提出については、第92回全国市議会議長会定期総会において「国による子ども医療費の無料化等の実施について」の議案が全会一致で決議されたところで、今後、鋭意議論がなされ、政府に対して要望活動が行われる予定である。

議会用語解説

●意見書提出権

議会は、当該団体の公益に関する事件について意見書を国会又は関係行政庁に提出することができ、これを議会の意見書提出権とい

います。

市民生活に重要なことであつても、国や県が行う事業で、市単独で解決できないときに、解決を求めるため、関係機関に対して意見書を提出することがあります。

田辺市議会は、平成17年度以降、56件の意見書を国会や関係行政庁に提出しています。



平成 27 年（1 月～ 12 月）行政視察来訪状況

12 自治体議会 70 名の議員及び職員の方々が、本市に調査・研究のため来訪されました。

月	日	訪問自治体	人数	視察項目
1	19	福島県田村市	3	市民協働の仕組みづくりについて
2	18	愛媛県大洲市	10	定住促進の取り組みについて
4	14	富山県小矢部市	8	文化交流センター「たなべる」について
	20	大阪府阪南市	1	歴史遺産を生かしたまちづくりについて
5	12	鹿児島県霧島市	7	観光振興策について
	27	岩手県一関市	10	熊野古道の世界遺産登録後における観光振興の取り組みについて
6	1	新潟県聖籠町	7	学校教育と社会教育の融合により行う事業について 学校を中心とした地域づくりについて
8	5	秋田県大仙市	10	議会運営（開かれた議会）への取り組みについて 議員定数削減への取り組みについて 議員提案条例について
10	22	奈良県五條市	6	田辺市の福祉行政について
	27	徳島県吉野川市	3	災害時における消防本部・消防署と消防団の通信 連絡について
11	9	大阪府羽曳野市	4	土砂災害の対応と危機管理について 世界文化遺産「熊野古道」について
	20	鳥取県	1	田辺・弁慶映画祭について

議 会 活 動 日 誌

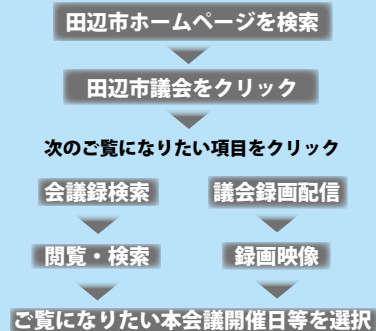
6月

- 【9日】議会運営委員会
- 【15日】本会議（1日目）、第2次田辺市総合計画調査特別委員会
- 【24日】本会議（2日目）、議会運営委員会
- 【27日】本会議（3日目）
- 【28日】産業建設委員会、文教厚生委員会
- 【29日】総務企画委員会

7月

- 【4日】第2次田辺市総合計画調査特別委員会
- 【6日】本会議（4日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、広報委員会、市庁舎整備調査特別委員会
- 【11日】文教厚生委員会
- 【12日】広報委員会

市議会本会議の会議録や録画映像はインターネットからご覧いただけます



- 田辺市ホームページ
<http://www.city.tanabe.lg.jp/>
- 田辺市議会ホームページ
<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/index.htm>
※表紙のQRコードからもアクセスできます。
- 会議録検索ページ
<http://www.kensakusystem.jp/tanabe/index.html>
- 議会録画配信ページ
<http://www.kensakusystem.jp/tanabe-vod/index.html>

議会日程の詳細や市議会だよりの内容等について、ご意見・ご質問等がありましたら、下記までご連絡ください。

ホームページでは、議会の情報や本会議会議録、録画映像をご覧いただけるほか、声の議会だよりのご利用いただけます。

【連絡先】
田辺市議会事務局
〒646-8545
田辺市新屋敷町1番地
TEL 0739-26-9940（直通）
FAX 0739-25-5579
E-mail: gikai@city.tanabe.lg.jp
<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/>

次回の「市議会だより」

11月号
（9月定例会の報告）



平成28年9月定例会の会期日程（予定）

9月定例会の会期日程（案）をお知らせします。

なお、日程は諸事情により変更される場合があります。恐れ入りますが、傍聴をご希望の場合は、議会事務局まで日時をお問い合わせください。

月	日	会議の内容
9	6	本会議1日目（補正予算等関係議案の提案説明）
	15	本会議2日目（一般質問）
	16	本会議3日目（一般質問）
	20	本会議4日目（一般質問、議案に対する質疑及び委員会付託）
	21・23	常任委員会（補正予算等関係議案審査）
	26	特別委員会
	29	本会議5日目（予算等関係議案に係る委員長報告、議案審議）

※本会議の開会予定時刻は、9月6日及び29日が午後1時、それ以外は午前10時です。

編集後記

議会だより8月号をお読みいただきありがとうございました。読まれていかがでしたか。

住みやすい田辺市にするために市民の皆様のご協力が必要です。市の課題を自分の事として考え行動する『住民参画』です。

この議会だよりによって市民の皆様が議会を身近に感じ、住民参画が進むことを願っています。

地域のつながりが強い町は、災害にも犯罪にも強い町だと言われています。田辺市もそうあってほしいものです。

よりよい議会だよりになるよう努めてまいりますので、ご意見ご感想をお寄せいただければ幸いです。（真砂）

広報委員会

委員長 市橋 宗行
副委員長 二葉 昌彦
委員 真砂 みよ子

“ “ “
北田 健治
安達 幸治
小川 浩樹